

# 令和2年度 【丹波市】認知症地域支援推進員活動報告

## 【丹波市】認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員： 4名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
  - ・ 普及啓発
  - ・ 定期相談（認知症疾患医療センターとの連携）
  - ・ 認知症介護者支援（認知症疾患医療センターとの連携）
  - ・ 認知症疾患医療センターと包括との連絡会
  - ・ 認知症初期集中支援事業（実務者会議）の実施
  - ・ 認知症ケアネット印刷・配布（医師会、歯科医師会、薬剤師会、民生委員協議会など）
  - ・ キャラバンメイト連絡会開催・企画・運営
  - ・ 認知症サポーター養成講座実施（普及啓発DVD活用）
  - ・ 医療機関との意見交換会の実施
  - ・ 若年性認知症勉強会開催（障がい福祉課との連携）
  - ・ 関係機関との連携（警察、駐在所との連携）
  - ・ 早期発見SOSシステムの拡大（QRコード、メール配信、防災無線の活用など）
  - ・ 世界アルツハイマーデー・月間普及活動
  - ・ 認知症カフェ連絡会開催

報告者：大久保真理・山本悠子・中村奈央美・松本佐緒里

# 【丹波市】認知症施策全体図

## ○ 丹波市の認知症施策の体系図

(丹波市第7期介護保険事業計画より)



# 【丹波市】 R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告①

テーマ番号<④> 標題 認知症理解を深めるための普及啓発の実施

## ★地域の現状★

- ・ 地域課題の中で、住民の認知症に対する理解不足や対応が必要であるケースが増加。
- ・ 一部関係者だけで解決することが難しいケースが増えている。
- ・ 住民の中に、理解不足による認知症への偏見が根強い。
- ・ コロナ禍で、対面での講座や集会活動の実施が困難となっている。  
→ 丹波市民に広く周知する必要性を実感した。



# 【丹波市】 R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告②

## テーマ番号<④> 標題 認知症理解を深めるための普及啓発の実施

### ★活動内容★

- ・ 世界アルツハイマーデー・月間に合わせて街頭啓発（認知症地域支援推進員、キャラバンメイト）大型スーパー入り口で、2020世界アルツハイマーデー・月間のチラシ、啓発グッズの配布と声掛け。



- ・ ショッピングセンターのポップをオレンジ色にライトアップ。  
(1か月間)



キャラバンメイトのメンバー



# 【丹波市】 R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告③

テーマ番号<④> 標題 認知症理解を深めるための普及啓発の実施

## ★実施時の市民の声★

- ・ 認知症が病気とは知らなかった。高齢者になるものだと思っていた。
- ・ 治療があると初めて知った。
- ・ 認知症になると何もわからなくなるので怖いと思っていた。優しく話しかけるようにしたい。
- ・ 学校で習ったことがある。リングも貰った。
- ・ 自分も何時なるかわからない。身近な病気と思った。



# 【丹波市】 R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告④

## テーマ番号<④> 標題 認知症理解を深めるための普及啓発の実施

### ★実施の効果

- ・幅広い世代への広報活動の一環としてイベントを企画、実施。
- ・認知症に因んだ日を設定したことで、市民の興味に繋がられた。
- ・幅広い市民に発信できる会場を設定し、個別に伝達した。  
家族間で、学習したことのある子供から親へ会話が広がっていた。
- ・身近な人と結びつけて質問される人もあった。
- ・買い物で来店者が多い日時を設定したことで、各世代の市民（夫婦や家族）日常生活で関わ  
りがない人へも情報伝達が出来た。
- ・世界アルツハイマーデーを知ってもらえ、認知症について考えてもらう機会になった。

### ★今後の課題

- ・一時的なイベントにせず、今後も継続して実施する方法を検討する。  
(市内ウォークやホームページ掲載など、他の活動への展開も)
- ・伝達内容や方法を検討し、理解しやすく興味を引く内容にする。
- ・認知症を身近なものとして、地域全体で考えられる機会づくりにしていく。  
もっと知りたいと思う市民への情報発信の場づくり。  
立ち寄りやすい集いの場づくり。



最後に・・・「認知症は自分には関係ない」と目を背ける人がいる中で、「誰でも認知症になる可能性がある」ことを伝え続け認知症になってもこれまでと同じように生活できる地域をめざし、認知症の人の思いを聴かせていただき、その思いを発信していきたい。